

広報 こえのするまち

おいしだ

大石田町

3

March

2025

No.825

——
小さな手に大きな夢
——



施政要旨 / P 2~3

令和7年度当初予算・主要事業概要 / P 4~7
モッシェ盛り上げコンサート、町消防団出初式
/ P 8~9

ニュース玉手箱 / P 10~11

協定を締結・町長コラム / P 12

まちとしょ information / P 13

文芸欄・お知らせ / P 14~15

別冊おいしだものがたり / P 16

お知らせ版 / 挟み込み



統合小学校の建築工事に着手



令和7年度

施政要旨

はじめに

厚生労働省が2月に公表した人口動態統計の速報値によれば、令和6年の外国人を含めた出生数は、前年比5.0%減の72万9888人であり、9年連続で最少を更新しました。当町においても、令和6年度の出生見込み数は11人であり、子育て支援の拡充、少子化対策に尽力してまいります。また、最上川が縦貫している当町では、地震同様、水害に対する備えも大変重要であります。昨年の7月に山形県北部を中心に記録的な大雨により、最上地域などでは甚大な被害が発生しました。異常気象が続く昨今、いつ令和2年のような水害が発生してもおかしくない状況にあります。現在「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を進めており、当町においては堤防整備等が計画されております。安心して暮らせるまちづくりのために、町民の皆様のご理解とご協力を賜りながら、国と連携して事業に取り組んでまいります。

によるキャッシュレス決済の拡充を図り、口座振替、コンビニ収納と併せ納税環境の向上に努め、さらにはスマートフォンを利用した申告の推進等、行政のデジタル化に取り組んでまいります。

地域活性化事業

○最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの移転者支援の一環として「定住促進事業助成金」の対象を移転対象者にも拡大し、町内への定住を促進します。
○NPO法人有償除雪ボランティアを活用し、安全で的確な除雪支援体制を構築していきます。また、小型除雪機購入補助制度も引き続き実施していきます。
○空き家の利活用を進めるため新たな地域おこし協力隊員の採用を進めていきます。

デジタル化推進事業

○1月27日に「2040変革推進宣言」を行い、国の「自治体DX推進計画」に基づき、今後も地方自治体が重点的に取り組むべき事項を具体化し、行政サービスの維持が難しくなる「2040年問題」を見据えた取り組みを進めてまいります。

保健・福祉関係事業

○子育て支援では、令和7年3月末に「第3期大石田町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援の取り組みを効果的に推進します。

納税対策事業

○令和5年度から始動した地方税共通納税システム、その他スマホ収納等

各分野の施策概要

管理に努めてまいります。
○道路除雪は、自助、共助、公助の方針に基づき、町民、地域、町の三者が、歩調を合わせ課題解決に取り組んでまいります。
○鷹巣地内の流雪溝整備を、引き続き実施してまいります。未整備地区については、国、県への働きかけを継続してまいります。

最上川緊急治水対策事業

○町では、移転を余儀なくされた方々を支援するため、代替地登録制度や宅地整備に取り組んできましたが、令和7年度には宅地整備を追加して行います。また、事業に関わる周辺地域の活性化を図るため、「かわまちづくり事業」の具体的な計画策定に向けた取り組みを進めていきます。

住宅インフラ事業

○町営住宅については、令和6年度に見直した「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な改修を行い、住環境の確保に努めてまいります。

安全安心のまちづくり事業

○災害時のタイムラインの見直しや資機材の運用訓練を実施し、防災・減災を推進してまいります。
○準中型免許取得支援や機能別消防団の確保を行い、若年層の加入促進と組織の強化を図ります。
○関係機関と連携し、交通事故防止のための啓発活動を強化します。また、

高齢者の免許証自主返納者に対するタクシー券交付事業も引き続き実施します。
○「レインボー作戦」を通じて、防犯意識の向上を図り、「元氣なあいさつ」であふれるまちづくりを目指します。

教育文化振興事業

○児童生徒の学力向上を支援するため、小中高校生を対象に、漢字検定、数学検定、英語検定の受験料を、それぞれ1回分、助成する事業を行います。
○令和7年度から統合小学校の建築工事に着手してまいります。
○部活動の地域移行では、令和8年度から土・日曜日の部活動の地域転開を目指し、子どもたちが望む活動の場を提供に向け検討してまいります。
○町外の小中学校に登校する児童・生徒についても給食費の完全無償化を実施し、保護者の経済負担の軽減を図ります。

○町民一人1スポーツ・1芸術を継続した柱として、多様で価値の高い学びの機会の充実に努めます。
○地域学校協働本部を中心として、子どもたちが自然体験や様々なスポーツ・文化活動ができるよう取り組んでまいります。
○駒籠楯跡遺跡については、今後町や県の文化財指定を受けることができようよう手続きを進めてまいります。

○地域経済の活性化や雇用機会の創出を図るため、各種補助金等の拡充を行い、新たな分野にチャレンジする中小企業者等を支援してまいります。
○17年目となるプレミアム商品券発行事業を支援します。また、「おおいしだエール券発行事業」は令和6年度補正予算で対応し、令和7年3月から使用できるように前倒ししてまいります。

観光物産振興事業

○「そはの里」として「新そはまつり」をはじめとするイベントを開催し、「大石田そば街道振興会」や関係機関と連携して観光振興と地域活性化を推進してまいります。

○「大石田まつり最上川花火大会」は、新町発足70周年記念事業として趣向を凝らし開催してまいります。

生活環境保全事業

○町衛生組織連合会と連携し、資源回収に取り組み、SDGsの実現に向けた取り組みも継続してまいります。また、「クリーンアップおおいしだ」の活動も引き続き推進してまいります。
○猫避妊手術や去勢手術費用の一部を補助する新たな制度を設け、生活環境の向上に努めてまいります。

建設関係事業

○安全な通行確保のため、社会資本整備総合交付金などを活用し、歩道や街路樹も含め、計画的に整備、維持

○保健事業では、令和7年3月末に「第3次大石田町健康増進計画 健康おおいしだ21」を策定し、「健康寿命の延伸」に重点を置いた取り組みを推進します。
○国民健康保険については、「医療費抑制対策」として、疾病予防の強化やかかりつけ医の定着、疾病の早期発見に取り組めます。

○介護保険事業については、「第9期大石田町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、「高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、総合的な高齢者施策を展開します。

農業振興事業

○少子高齢化や担い手不足、農業資材や肥料の価格高騰によって農業経営は厳しい状況です。国や県の動向を注視しながら対策を講じます。
○令和5年度には、町内でも熊による人的被害が発生しています。町民の安全と農作物を守るため、「狩猟者確保対策事業補助金」を拡充し、対策に取り組めます。

○森林は重要な資源であり、令和7年度からは森林環境譲与税を財源とした森林整備事業を進めていきます。

商工業振興事業

○町内商工業事業者の経営基盤強化を図るため、町商工会と連携を図りながら商工業の活性化を推進してまいります。

次世代に虹をかける 「子どもたちの笑顔あふれる未来づくり」へ

一般会計当初予算 (前年度比 +19億2,000万円、+37.1%)

71億円

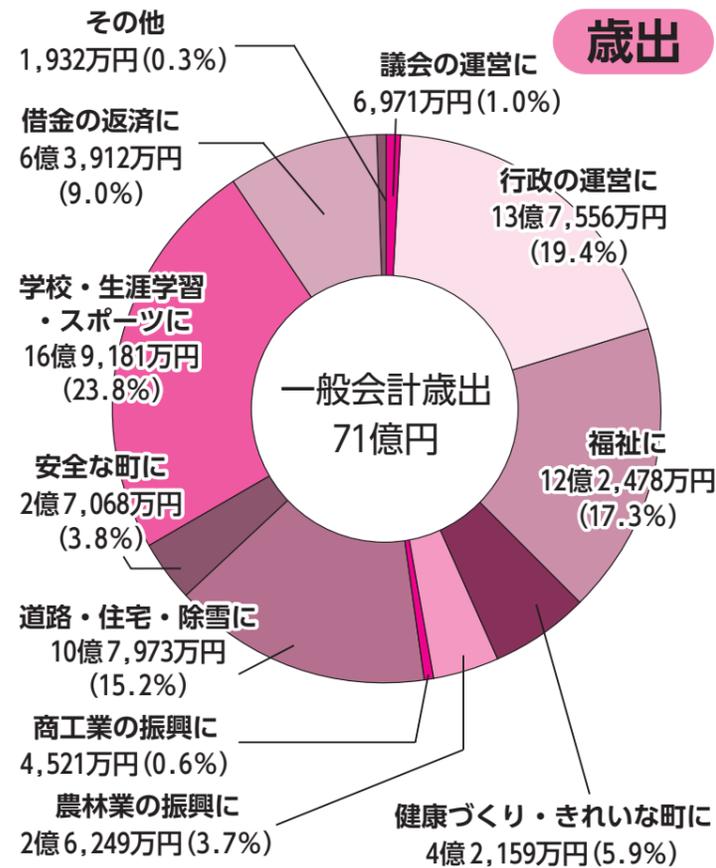
特別会計当初予算 (前年度比 ▲9,200万円、▲4.9%)

17億7,120万円

公営企業会計当初予算 (前年度比 ▲1,394万円、▲9.3%) ※歳出ベース

1億3,675万円

区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
議会の運営に	▲487万円(▲6.5%) 7,458万円
行政の運営に	12,694万円(10.2%) 12億4,862万円
福祉に	8,192万円(7.2%) 11億4,286万円
健康づくり・ きれいな町に	1,383万円(3.4%) 4億776万円
農林業の 振興に	1,872万円(7.7%) 2億4,377万円
商工業の 振興に	▲467万円(▲9.4%) 4,988万円
道路・住宅・ 除雪に	59,367万円(122.1%) 4億8,606万円
安全な町に	▲3,789万円(▲12.3%) 3億857万円
学校・生涯学習・ スポーツに	11億2,926万円(200.7%) 5億6,255万円
借金の返済に	189万円(0.3%) 6億3,723万円
その他	120万円(6.6%) 1,812万円

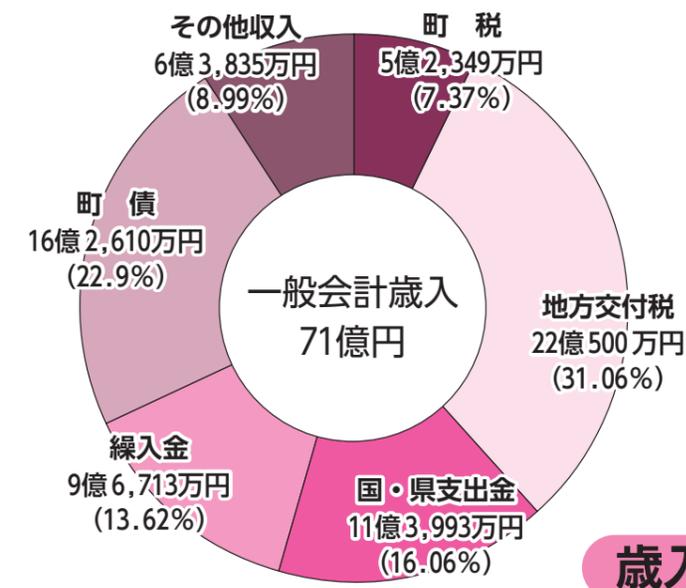


区分	予算額	増減率
一般会計	71億円	37.1%
特別会計	国民健康保険	7億4,500万円 ▲4.0%
	介護保険	9億円 ▲6.9%
	後期高齢者医療	1億2,620万円 4.8%
公営企業会計	簡易水道事業	1,500万円 20.0%
	農業集落排水事業	1億2,175万円 ▲11.9%
計	90億795万円	25.2%

人件費：職員の給与など	10億8,881万円 (前年比3.6%)
扶助費：障がい者支援や医療費助成など	5億6,585万円 (前年比6.4%)
公債費：過去の借入金の返済にかかる費用	6億3,912万円 (前年比0.3%)
行政運営費：事業実施の事務経費や施設管理費用など	22億6,504万円 (前年比8.4%)
施設等整備費：施設や道路などの整備にかかる費用	20億6,295万円 (前年比399.5%)
繰入金：一般会計から特別会計等に支出する費用	4億7,823万円 (前年比4.7%)

今年度の予算編成においては、地域・町民・行政が力を合わせ『子どもたちの笑顔あふれる未来づくり』を実現するため、行財政改革に取り組むとともに、ふるさと納税事業の推進や新しい技術を用いた取り組みにもチャレンジし、財源確保に努め、事業の取捨選択、経常的経費の節減を図りながら、社会保障の充実や総合的な雪対策の強化、行政のデジタル化や町独自の地方創生事業の推進など、行政サービスの更なる充実のために、諸改革を遂行していくこととしています。

一般会計予算額



区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
町税	1,510万円(3.0%) 5億839万円
地方交付税	0円(0.0%) 22億500万円
国・県支出金	3億8,715万円(51.4%) 7億5,278万円
繰入金	1億8,906万円(24.3%) 7億7,807万円
町債	12億9,930万円(397.6%) 3億2,680万円
その他収入	2,939万円(4.8%) 6億896万円

※公営企業会計は歳出ベース

用語解説

一般会計：福祉・医療、教育、道路整備などの基礎的な行政サービスを行っていくための会計です。行政の主な事業はこの予算によってまかなわれています。

特別会計：特定の事業を特定の収入でまかなう会計のことで、収支を明確にするために、一般会計から独立したものとなっています。大石町では3つの特別会計があります。

公営企業会計：事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を管理する会計です。簡易水道事業会計と農業集落排水事業会計はこれに該当します。

地方交付税：全国どの自治体でも一定の行政サービスが提供できるように、国が財政状況に応じて配分するお金。

国・県支出金：国や県が使い道を決めて支出する補助金、交付金や負担金などのこと。

繰入金：積み立てていた基金などから予算に繰り入れるお金。

町債：町が銀行などから借りるお金。

その他収入：町の土地などを利用したときの使用料のほか、諸収入や寄付金など。

公債費：過去に町が借りたお金(町債)を返すための費用。一般会計歳出の円グラフ「借金の返済に」の項目。

健康づくり・きれいな町に(衛生費)

拡充	予防接種事業費	予防種のための費用 (帯状疱疹などの定期予防接種も拡充)	17,766
新規	母子保健事業	新たに妊婦検診通院交通費を助成	5,054
	出産・子育て応援事業	妊婦支援給付金に関する費用など	1,925
新規	猫不妊去勢手術費補助金	上限：メス1万円、オス5千円	150
	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合負担金	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合への負担金	249,142
	健康増進事業費(がん検診事業)	各種がん検診に関する費用など	13,640

農林業・商工業の振興に(農林業水産事業費+商工費)

	鳥獣被害対策協議会運営費	新規狩猟免許取得等支援事業費補助金など	2,644
	新規就農者育成総合対策事業	次世代を担う農業者になる意欲のある方に 経営開始資金や農業用機械の購入費を支援	1,500
	多面的機能支払交付金事業	農業の多面的機能維持・発揮のための活動を支援	57,180
	資格取得支援事業助成金	就職や仕事に役立つ資格取得のための取得に要する経費を助成する。	450
	新事業チャレンジ支援助成事業	新製品開発や新分野への進出に取り組む中小事業者等の 新事業へのチャレンジに対する助成金	3,000

道路・住宅・除雪に(土木費)

	道路除雪費	町道等の除排雪や流雪溝の維持管理費用	125,413
	除雪機械車庫整備事業	(主)大石田畑線道路改良事業に伴う移転	388,136
	最上川流域治水対策関連事業	横山地内宅地造成事業、かわまちづくり協議会などに 関する費用	88,418
拡充	住宅リフォーム支援事業	住宅リフォームに対する補助金 (減災対策の耐震診断等の事業を追加)	16,750

安全な町に(消防費)

新規	非常備消防費	普通免許では運転できないポンプ車の準中型免許等の 取得を支援	33,151
新規	消防団活動用車両車載カメラ設置事業	ドライブレコーダーの取付に関する費用	468
新規	消防団用無線機バッテリー購入事業	双方向の送受信が可能となるようにバッテリーの購入を 行う	1,479
新規	消防設備整備事業負担金	通信システム第三世代化、救急情報共有システム等に 関する費用	71,837

学校・生涯学習・スポーツに(教育費)

新規	学力向上支援事業助成金	小学生～高校生までの検定試験受験料を助成	522
新規	学校給食費支援事業補助金	町外へ通学している児童生徒の給食費を支援	264
	教育振興費(小・中学校)	小中学校の備品購入や1人1台端末の更新など	57,722
	小学校施設整備事業	統合小学校整備事業、工事管理、廃校利用活用検討に 関する費用など	1,146,042
新規	部活動地域移行コーディネーター 配置事業	部活動の地域移行に向け、コーディネーターを配置する ための費用	926
	学校給食事業費	令和6年度から学校給食の完全無償化を実施	88,165
	生涯学習自主企画事業	生涯学習自主企画運営に関する費用	4,794
新規	芸術文化振興事業費	地域の重要プロジェクトの現場における責任者として地 域プロジェクトマネージャーを配置	5,463

令和7年度一般会計

予算の主な使いみち

— Key uses of our budget —

令和7年度一般会計予算の
主な使いみちを紹介します。



(単位：千円)

議会の運営に(議会費)

	議員行政調査	議員の政策判断能力向上を目的とする先進地研修を実施	1,201
	議会活性化事業	模擬議会、少年議会、モニター制度を行うための費用	169

行政の運営・まちづくりに(総務費)

新規	新町発足70周年記念事業	新町発足70周年を記念し、式典や各種事業を実施	2,991
新規	財産管理費	旧横山保育園解体工事など	91,120
新規	人口ビジョン及び総合戦略改訂事業	令和8～5年間の総合戦略見直しに係る業務委託	5,500
	ふるさと応援基金事業	ふるさと納税に係る事務費と基金	478,517
	地域おこし協力隊インターン事業	インターン事業の業務委託に係る費用	4,912
	地域おこし協力隊隊員サポート事業	空き家活用事業支援業務委託など	550
	Aiナビやまがた登録推進事業	県婚活マッチングシステム登録料助成(@1万円)	100
	空き家対策事業費	不良住宅の除却や空き家バンク活用促進に関する 補助金など	1,825
	デジタル変革推進費	町のDXを推進する上で、専門的知見から補佐する外 部人材を登用し、事業全体の推進を図る	5,672

福祉に(民生費)

新規	高齢者世帯等エアコン購入費助成事業	高齢者・生活保護世帯に設置費用の一部を助成 (上限5万円の助成金)	500
	暖房費助成事業	65歳以上対象	1,500
	知的障がい者自立支援給付事業	知的障がい者への介護費用の給付金など	127,549
	精神障がい者自立支援給付事業	精神障がい者への介護費用の給付金など	24,468
	一人暮らし高齢者等除雪費助成金支給事業	一人暮らしの高齢者世帯への除雪費助成金	
	在宅保育支援助成金支給事業	在宅保育支援助成金の支給のための費用	5,450
	児童手当支給事業	児童手当支給のための費用	1,560
	保育料完全無償化事業	令和6年度から保育料の完全無償化を実施	106,809



全力で守る **大石田町消防団出初式** **町の安心と安全**

3月2日(日)に大石田町消防団出初式が本町町営駐車場ほかで行われ、分列行進では、団員146名、車両17台が堂々と行進を行いました。その後、本町地内にて迫力満点の一斉放水が行われました。



自主企画事業 みんなでモッシェおーいしだ 盛り上げコンサート2025

2月16日(日)に生涯学習自主企画事業「みんなでモッシェおーいしだ盛り上げコンサート2025」が虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。今年は、白崎映美さん、小柴大造さん、若草 恵さんのほか、ゲストとして、朝倉さやさん、辛島美登里さん、工藤綾乃さん、佐藤善人さんがコンサートを大いに盛り上げてくださいました。また、町内からも大石田中学校吹奏楽部による演奏や大石田南小学校5年生の児童たちによる大黒舞などが披露されました。



機能別消防団員を募集します。

災害時において町民の生命、身体及び財産の保護並びに被害の軽減に寄与するため、知識や技能等を活かして、災害現場で不足する消防力を補完するため募集します。

- ◆募集人員 / 20名
- ◆応募資格 / ・消防団員の経験を有する者または必要とされる知識及び技術を有する者
・大石田町に居住し、または勤務する者
・年齢が75歳未満の者
- ◆活動開始日 / 5月1日から
- ◆活動任務 / ・所属する分団の区域内の火災時における消火活動及び支援活動
・その他消防団長が必要と認める活動
- ◆被服貸与 / 法被及びヘルメット
- ◆処遇 / ・年額報酬 6,000円(福祉共済1,500円が差し引かれます。)
・災害出動報酬日額8,000円
・5年以上の在職で退職金支給
- ◆募集期間 / 4月25日(金)まで
- ◆申込方法 / 申込書に必要事項を記入の上、下記に提出してください。
申込書は、下記窓口及び町HPからダウンロードできます。
- 大石田町消防団事務局 まちづくり推進課 生活安全グループ
☎(35)2111(内線225)



おはなしと音楽で育む心 親と子のつどい

親 子が一緒に楽しむ親と子のつどいが2月26日(水)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

これは、小学校入学前に子どもや親同士が交流を深めるため、毎年行われているもので、33組の親子66人が集まり、大型紙芝居や音楽を使ったゲームを楽しんだり、人形劇を鑑賞したりしました。

このうち、音楽や歌のリズムにあわせて親子で手を合わせるゲームでは、子どもたちの賑やかな笑い声が会場に響いていました。参加した保護者は「親子で一緒に楽しむことができて、とても良いイベントだと思います。」などと話していました。



あたたかい福祉のまちづくり いきいき大石田福祉のつどい

い きいき大石田福祉のつどいが2月23日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

開会行事では社会福祉活動に尽力された方々への町社会福祉協議会会長表彰が行われ老人クラブなどの団体や個人などが表彰を受けました。

その後「いきいき発表会」が行われ、大正琴や合唱、ダンスに民謡など、さまざまな芸術団体や福祉ボランティアの会などが趣向を凝らした出し物を次々と披露し、会場を盛り上げていました。

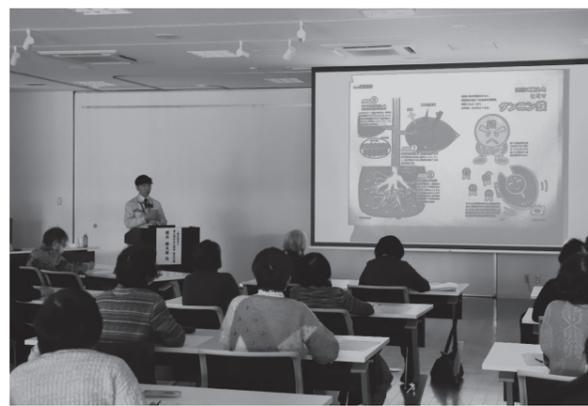
また、虹のプラザでは、手芸作品や絵画、竹細工などの作品のほか、健康推進員による活動報告や保健師による健康相談などの健康体験コーナーが設けられました。また、食生活改善推進員連絡協議会による家庭備蓄品の試食会などが行われ、多くの人で会場は賑わっていました。



正しい食事を考える 基礎から学べる！栄養教室

自 分の食事を考える基礎から学べる！栄養教室が、1月30日(木)と2月13日(木)の2日間虹のプラザ「調理室」で行われました。1回目の講座は、カロリー計算と食事バランスの整え方について考える座学が行われ、2回目の講座は、グループに分かれ豆腐入りハンバーグやほうれん草としめじの磯和えなどバランスの良い食事を実際に調理しました。

参加した、小関栄子さんは「栄養を考えて自分の食生活を見直すきっかけとして参加しました。これからは食事に気を付けてみたいと思います。」と話していました。



目からうるこの 野菜づくりのコツ学ぶ

春 から始められる野菜づくりのコツの講座が2月21日(金)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。

講師には、町立図書館にも置かれている月刊誌「現代農業」を発行している一般社団法人農山漁村文化協会東北支部櫻井歓太郎さんをお迎えし、参加者はトマトやジャガイモの失敗しにくい植え方など野菜づくりのコツを学んでいました。

最後に行われた質疑応答では、参加者は、具体的な土の作り方など自分自身の悩みを相談していました。



交通安全の約束わすれないでね かもしかクラブ修了式

か もしかクラブ修了式が2月26日(水)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

今年度のかもしかクラブでは、道路を安全に渡るための「ストップのお約束」や、ダミー人形の「とびたくん」を使った車との衝突実験などを行い、園児たちは、たくさんの交通ルールやシートベルト着用の大切さなどを学びました。

園児たちは、大きく返事をしながら、修了証を受けとっていました。

今後も交通安全のお約束をしっかり守って、交通安全に気をつけましょう。



琴の魅力を授業で発見 南小児童が和琴を体験

和 琴の出前学習が、2月7日(金)に南小で行われ、5年生児童7人が参加しました。

これは、「琴音サークル」(永登節子代表)の協力で行われたものです。

この日は、「さくらさくら」を演奏し、教室には琴の華やかな音色が響き渡っていました。授業の最後には児童が琴の演奏に挑戦しました。児童は、初めて触れる琴に苦戦しながらも、楽しそうに演奏していました。

齋藤結月さんは、「琴の音がきれいだと思った。やってみると楽しかったのですが、弦を弾くのが難しかった」と話していました。

水明苑でそば振る舞い



大石田そば街道振興会による打ちたて茹でたてのそばの振る舞いが2月26日(水)に水明苑で行われました。

当日は、実際に利用者の方が和気あいあいとそばを打っていました。

同会会長は、「おいしそうに食べている姿を見て嬉しくなりました。」と話していました。

大石田南小学校が自然薯の収益金を町立図書館に寄附



大石田南小学校の6年生が大石田町新作物開発研究会の協力を得て栽培した自然薯の販売収益金を大石田町立図書館に寄附しました。

これは、児童たちが自然薯の収益金で地域の方に本に親しんでもらいたいという思いから行われたものです。

寄附いただいた収益金は、今後本の購入に使用されます。大変ありがとうございました。



大石田町地域おこし協力隊コラム

小さなころから、その土地で生み出される文化。

芸術を楽しみ自ら実践していくことが、「自分達のまち」を有機的に残していく唯一の方法なのではないでしょうか。と前回のコラムでは書かせていただきました、地域おこし協力隊の大橋武司です。

任期も残り僅かとなりこのコラムも最後になるかと思えます。改めてこの3年間の活動を振り返ると自身の生活も大石田の文化も様々なことが、変化したのではないかと思います。大石田AIRで取り扱った新たな町の時報も皆さん聞き馴染んできたのではないのでしょうか？

少し暖かくなりましたので、6時になったら窓をあけてヴァイオリンのメロディに耳を傾けてはいかがでしょうか。引き続き赤ちゃんから大人まで楽しめる新しくも懐かしい大石田の文化芸術をお楽しみに！

そのほか大阪万博出演を控えていますダンスクラブエアでも新たな生徒を募集しています。対象は北村山地区の小学高学年から高校生まで。体験見学無料ですので、oishidaair@gmail.comまでご連絡ください。引き続き赤ちゃんから大人まで楽しめる新しくも懐かしい大石田の文化芸術をお楽しみに！

死亡事故ゼロ1,729日目

(3月12日現在)

大石田町の交通事故発生状況 (令和7年1月1日～3月12日)



- 発生件数 1件 (+1件)
 - 負傷者数 1人 (+1人)
 - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※()は前年比

今月のポイント

「春の交通安全県民運動」が始まります。
期間：4月6日～15日の10日間
春は交通事故が多くなってきます。
スピードを控え、安全運転をしましょう。

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

4月の主な行事予定

日	行事予定
2(水)	大石田保育園入園式/午前10時/大石田保育園
3(木)	ふたば保育園・ふたば横山保育園入園式/午前10時/各保育園
7(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」 町内小学校入学式/午前10時/各小学校 大石田中学校入学式/午後1時30分/大石田中学校
9(水)	心配ごと相談/午後1時30分～午後4時/社会福祉協議会
15(火)	狂犬病予防接種(田沢・横山・豊田・海谷・役場)
21(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

日曜・休日急患の当番医

4月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
6日(日)	伊藤クリニック	(23)3350
13日(日)	後藤医院	(35)2034
20日(日)	吾妻クリニック	(35)2021
27日(日)	加藤クリニック	(22)9877
29日(火)	さかえクリニック	(53)8181

家族の健康管理に気をつけて

短歌

あなたのニギハヤク

※原文のとおり掲載しています。

いかされて生きて米寿を迎へたり感謝と祈り居寝べき時を越えても
 雪下ろし三月にやうやく頼めたりその夜は久に安眠なせり
 蕎麦を啜る窓の向こうの蕎麦の花と子供の頃の愁い揺らめく
 如月にひな人形を飾る時一年ぶりの挨拶をする
 はんなりと桜の襲なりたてのシングルマザーが折る紙の雛
 ここ数年雛を飾らず過ぎ去りて嫁ぎし娘の年を数える
 亡き妻が丹精込めし傘福を雛会の日には仏間へ飾らむ
 門出する若者たちの行き交ひて花も咲くなむ春の駅舎よ
 一尺の雪降りくればひねもすを除雪に暮るるまだ寒の入り

海 彼 伊 鈴 小 鈴 小 富 熊
 藤 方 藤 木 関 木 玉 樫 谷
 忠 哲 隆 祐 智 春 榮 ヨ
 男 信 夫 行 子 恵 恵 太 郎 子

俳句

希望へて卒業の孫いとおしく
 せせらぎや私選三月五線譜に
 春愁をリス横切つて行きにけり
 ゴム長を靴に履替へ春の旅
 窓に置く水仙の芽のスツと伸び
 無住寺の境内埋める雪の山
 温泉に入っている間に積もる雪
 職人技光たふるわらび餅
 畳の目しっかり見つめておよぐ乳児
 冬空を一人眺めて一人酒

佐 山 星 木 伊 柏 糸 青 青
 藤 奥 川 村 藤 倉 尾 木 木
 一 G 紀 満 千 ヤ ミ 宙
 郎 G 一郎 喜 子 子 榎 女 翁

別冊

おいしいだものがたり

～資料館資料編～ ■「大石田雛人形展」より

資料館では「大石田雛人形展」を開催中ですが、今回は一つ一つの雛人形を取り上げるのではなく、「大石田の雛人形『群』」として考えてみたいと思います。

現在資料館の展示室には、江戸中期の「元禄雛」をはじめ、複数の「享保雛」、そして江戸後期の「古今雛」、さらに明治・大正期の雛人形が一堂に会しています。ご存じの通り享保雛は古今雛よりも古い様式の雛人形ですが、この享保雛の中にも、肘を張って堂々とした姿勢の享保雛から、なで肩で袖を垂らす柔らかな表現の享保雛まで、好み・流行の変遷を物語るものが揃っています。古今雛でも、玉眼が嵌められた関東式の古今雛やまぶたを彫り込む関西式の古今雛、さらには関西式でも玉眼が嵌められるようになった頃の古今雛など、ここにも時代の流れを窺わせる要素が見て取れます。また明治以降の古今雛でも、化学染料が使われた色鮮やかで若々しい人形があるかと思えば、根強く天然染料で染めた衣装を纏う復古的な人形もあります。この豊富なバリエーションは大石田の雛人形それぞれが各地・各時代に顕著な様式を示していることに由来します。

昨年この小欄では、昭和中期でさえ雛人形を飾って節句を祝う風習は全国的に3割程度だったことを紹介しました。これが江戸時代の、さらに文化の先進地である江戸や京都から遠く離れた地方においては、より低い割合ではなかったかと思われます。しかし上記のように雛人形群として俯瞰してみると、大石田には上方や江戸から途切れることなく雛人形が流入していたことがわかります。なぜこのように、地方において決して文化的なメインストリームとはいえなかったであろう雛人形を継続的に受け入れてきたのでしょうか。それはきっとこの地にとって雛人形や「お雛見」が特別な意味を持っていたからだと考えられます。特に雪深い大石田においては、月遅れの4月3日に雛人形を飾って人を招くことが、長い冬の終わりや遅い春の訪れを告げる重要な儀式であり、節目を区切るハレの日としての機能を果たしていたのでしょうか。そのためにかつて商家では雛人形を買い求め、お雛見の風習と共に代々大切に受け継がれた結果、200年以上経過した今日でも十分鑑賞に堪える人形たちが「群」として大石田に残されているのです。(大石田町立歴史民俗資料館 大谷 俊継)



日本遺産「山寺と紅花」関連企画展「大石田雛人形展」は4月3日(木)まで



大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

町の人口 令和7年3月1日現在

世帯数	2,210戸	(-7)
総人口	5,940人	(-22)
男	2,961人	(-12)
女	2,979人	(-10)

(2月中の異動)

出生	0人	転入	0人
死亡	16人	転出	6人

※この人数は外国人も含めたものです。